

お便りください

このコーナーは、皆さんの意見や地域的话题をお届けしています
広報広聴課 ☎51-0123 内線2822へ御連絡ください

市長への
手紙から

平成八年度に寄せられた

市長への手紙は三百六十七通

市では、市民の皆さんからのさまざまな意見や提言を聞き、市政に反映させるために「市長への手紙」制度を設けています。今回は、昨年一年間に、寄せられた市長への手紙をまとめました。

「市長への手紙」制度

市長への手紙制度は、広く市民の皆さんから「生の声」を聞く広聴業務の一環として、昭和四十九年から導入され、昨年までに六千通を超える意見や提言などが寄せられました。また、昭和五十四年から、はがきを年一回三地区(富士・吉原・鷹岡)に分けて広報ふじに折り込んで全戸配布しています。そのほかに、公民館などの公共施設にもはがきを置くなど、市民サービスとして欠かすことのできない制度となっています。

「年々ふえ続ける

受け付け件数」

ここ数年、市長への手紙として受け付けされた件数は増加しています。昨年一年間に寄せられた手紙は三百六十七通ありました。その内容は、公園の整備に関するものが多く、次に中央



○要望の多かった内容ベスト5

順位	内容	件数
1	公園整備	22
2	中央図書館	18
3	職員の接遇	15
4	専任手話通訳者設置	14
5	缶・ごみの回収	13

○市長への手紙の処理状況

実現・実現可能	調査検討	参考・その他	計
49	56	262	367

図書館や職員の接遇、専任手話通訳者の設置や缶・ごみに関する要望事項が多く寄せられています。また、寄せられた手紙の内容について、実現もしくは実現可能な内容が四十九通、また今後調査検討する項目が五十六通となり、皆さんの意見や提言が直接市政に反映されています。これからも充実した制度の運営に力を入れ、なお一層皆さんの声を市政に生かしていきます。※手紙には内容の問い合わせや回答をする場合に、住所、氏名、電話番号が必要となりますので必ず記入してください

富士市青少年指導委員

ブリームアップ
ふじ



富士市青少年指導委員は、青少年を健全に育成することを目的に、昭和四十二年に設置され、ことしで三十周年を迎えます。委員は、各地区の生涯学習推進委員会と小・中・高校の学校長から推薦されて、富士市教育委員会から委嘱されます。現在は、二百十六人が活動しています。

主な活動は、各地区を巡回する通常補導や、駅・駅周辺、列車内を見回る通学特別補導、富士市四大祭りの祭典補導などの補導と、青少年に関する相談業務です。補導では、警察と連携を図りながら、主にたばこやシンナーを吸っている青少年などへの声かけを行っています。

青少年指導委員会会長の深澤信之さん(川成島)は、次のように話してくれました。「委員を務めて二十年目になりますが、毎日が委員としての活動だと思っています。今まで、もちろん嫌なこともありましたが、でも、私が指導した子供が結婚式に呼んでくれて、しかもその



吉原祇園祭で巡回を行う

深澤信之さん(中央)

子に赤ちゃんが産まれたとき、「これで親の気持ちがわかったのだろ」と言ったら涙をこぼしていたのがとてもうれしかったですね。委員をやってきて、自分の子育てにも役に立ったし、自分にも家族のためにもよかったと思います。

子供たちは、とても環境に感化されやすいです。子供たちにとってよい環境をつくるため、テレクラの看板や有害図書・ビデオの自動販売機の撤去などを働きかけていきたいと思っています」